

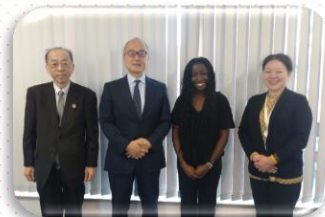
Introductory Meeting -はじめまして！-

国連大学協会では、国連大学サステナビリティ高等研究所(UNU-IAS)大学院プログラムで学ぶ学生への奨学金として、彼らの日本での生活を支援する寄付制度「jfScholarship賛助会員制度」を設けており、中でも特別賛助会員の皆さまには、奨学金に名称を付け、特定の学生を入学から修了まで複数年にわたり継続的にご支援いただいています。このような支援を受けるjfScholarship for UNU奨学生が、これからの日本での学生生活を支えてくれる皆さまに来日の挨拶をしました。

The Kojima Family Scholarship for UNU奨学生

2024年11月7日、UNU-IAS修士課程1年オティエノ ホープ グレース アディアンボさん(ケニア)が、国連大学協会事務室にて特別賛助会員の小島三津雄さんに挨拶をしました。

2024年夏にケニアにある大学を卒業後すぐにUNU-IAS大学院プログラムに入学したことを伝え、この2年間で取り組む研究のテーマである「肉食文化において環境維持のための植物中心の食物選択の推進」について説明しました。小島さんから名前の由来を聞かれると、ホープという名前は母がつけてくれたと嬉しそうに話してくれました。小島さんからはさまざまなアドバイスと激励の言葉が贈られ、最初は緊張した様子で事務所を訪れたホープさんでしたが、終始和やかな雰囲気の中に懇談が終了しました。



Sumitomo Chemical Scholarship for UNU奨学生

2024年12月23日、UNU-IAS修士課程1年グベク ジェームズ アリズィさん(ガーナ)が、特別賛助会員である住友化学株式会社東京本社を訪問しました。

北風が冷たく吹くこの日、コートも着ずにあらわれたグベクさん。寒くありませんか？と住友化学株式会社の皆さまに声をかけられると、「東京はガーナに比べると寒いですが日中は暖かいのでまだ大丈夫です。」と若さいっぱいのお返事が返ってきました。緊張した面持ちで面談に臨んだグベクさんでしたが、この会話ですっかりリラックス。これから修士課程で取り組む農業生態学の研究について語り、住友化学株式会社様のサポートがなければUNUに入学することはできなかったと感謝を伝えました。



また、国連大学での新生活にも触れ、「国連大学の大学院は、いろいろな国出身の学生が集まっており、多様性に富んだ環境で勉学できて大変恵まれています。日本語も勉強中ですが、国連大学では英語なので日本語を話す機会がなくて。」と話してくれました。住友化学株式会社の皆さまから、「日本での修学に貢献できることを大変嬉しく思います。2年間大変なことが多いと思いますが、研究を頑張ってください。」とエールが贈られました。

Semiconductor Energy Laboratory Scholarship for UNU奨学生

2025年1月27日、UNU-IAS博士課程1年ガジェ フィオナさん(ジンバブエ)が、特別賛助会員の株式会社半導体エネルギー研究所を訪問しました。

最初に株式会社半導体エネルギー研究所歴史館で社員の皆さまに、様々な製品の開発についてご案内いただくと、アフリカは資源が豊富だが、それを有効利用する技術がおいっていないと、日本の開発技術に驚きを隠せない様子。フィオナさんの数々の質問に担当者の皆さまが真摯に丁寧に答えてくださり、当初は緊張気味のフィオナさんもこの見学ですっかり社員の皆さまと打ち解けました。



その後のミーティングでは、これから博士課程で取り組む生物多様性の研究について語り、民間企業に勤めた経験をもつフィオナさんですが、株式会社半導体エネルギー研究所様のサポートがなければUNUに入学することはできなかったと感謝を伝えました。また、日本での新生活にも触れ、「違った文化の食事をとても楽しんでいます。桜の花を見たり、パンダをみたり、富士山にも登りたいです。」と意欲満々に話してくれました。株式会社半導体エネルギー研究所の皆さまから、「日本での修学に貢献できることを大変嬉しく思います。3年間頑張ってください。」とエールが贈られました。

Our Home Country -アフリカから来ました-

今回jfScholarship特別賛助会員の皆さまに来日の挨拶を済ませたjfScholarship for UNU奨学生3名は、全員日本から約1万キロメートル以上離れたアフリカ大陸の出身です。彼らの出身国をご紹介します。

Mr. GBEKU, James Alidzi(Ghana)

グバク ジェームズ アリズィ(ガーナ)

Sumitomo Chemical Scholarship for UNU奨学生

ガーナってどんな国？

ガーナ共和国、通称ガーナは西アフリカに位置する共和制国家。首都はアクラ。公用語は英語。カカオ豆の産地としても有名。ガーナ大学には、ガーナで黄熱病に倒れた野口英世の功績を記念した野口記念医学研究所がある。多数の日本企業がガーナ産のカカオ豆を使用、社会貢献活動にも。



Ms. OTIENO, Hope Grace Adhiambo(Kenya)

オティエノ ホープ グレース アディアンボ(ケニア)

The Kojima Family Scholarship for UNU奨学生

ケニアってどんな国？

ケニア共和国、通称ケニアは東アフリカに位置する赤道直下の共和制国家。首都はナイロビ。首都ナイロビは、イギリス植民地時代に建設された都市で、国連環境計画や国連人間居住計画の本部が立地するなど、アフリカ有数の国際都市になっている。日本のバラ輸入先でケニアは第一位。



Ms. NGADZE, Fiona(Zimbabwe)

ンガジェ フィオナ(ジンバブエ)

Semiconductor Energy Laboratory Scholarship for UNU奨学生

ジンバブエってどんな国？

ジンバブエ共和国、通称ジンバブエは、アフリカ大陸の南部に位置する共和制国家。首都はハラレ。2003年に脱退するまでイギリス連邦の加盟国だった。ジンバブエとザンビアの国境に位置する『ヴィクトリアの滝』は、ユネスコの世界遺産に登録されている。日本人訪問客は年間約3万人。



jfScholarship for UNU賛助会員

国連大学サステナビリティ高等研究所大学院プログラムの学生たちを支援する目的で複数の企業や個人の方々より継続的にご寄付いただく制度。学生の日本滞在中の生活費支援および大学院の教育活動支援に使用します。国連大学協力会では、毎年複数名のアフリカ出身の学生をjfScholarship for UNU奨学生として支援しています。本法人への寄付には公益財団法人としての税制上の優遇措置が適用され、寄付者は所得税・法人税の控除が受けられます。個人の寄付については内閣府より税額控除制度の適用も認められています。



<https://www.jfunu.jp/support/>